

令和3年度 第2回 ふじさんエコトピア利用者（団体）意見交換会

青字は回答 赤字は検討中

No	打合日	検討者 (●検討者 ○関係者)			検討・報告内容	検討結果	
		富士市	市民	事業者 CKB		状態	
1	5/19				4/14 第一回の意見交換会での検討事項 エコトピアの掃除用具置き場の増設について。		修理再生室・食材再生室にホウキとチリトリを設置。それぞれを土足エリア用・土足禁止エリア用とする。
2					4/15 第一回の意見交換会での検討事項 イベントを行う際の保険について。		エコトピアと共催で行うイベントについては富士市加入保険が適用される。貸館でのイベントについては、必要に応じてイベントを企画した個人・団体が保険に加入する。
3			●	●	4/16 第一回の意見交換会での検討事項 3R共同活動プラットフォームの名称について。	検討中	今回の議事報告メールに対して、名称案を返信していただく。いただいた名称案をもとに次回意見交換会にて検討する。
4					共催イベントの謝礼金の金額について。		12:30を境にAM、PMと分け各5000円を謝礼金としてお支払いする。
5					自主事業について。		自主事業とは、指定管理者が行う3Rとは関係のない集客を目的とした事業。
6					貸館事業について。		実施企画書の提出は必要なし。イベント保険については、必要に応じてイベントを企画した個人・団体が保険に加入する。イベントの申込受付、広報も団体・個人で各自行っていただく。詳しくは『富士市新環境クリーンセンター循環啓発棟(ふじさんエコトピア)施設・備品等の使用について』に明記。←5/20 ホームページに掲載済み。
7					自主事業や貸館事業など、行政のようでわかりにくい。		今回、名称の変更と内容の変更が混在してしまっているが、今まで自主事業と呼んでいたものが貸館事業だったため、今後は貸館事業として取り扱っていく。また、貸館事業の内容については新たに上記NO.6の様な内容となったため、これから貸館でイベントを行う際は内容の変更点にも留意いただきたい。
8					貸館で行うイベントのニュースレター掲載について。		現在発行済みのニュースレターに載っている予約方法及び既にふじさんエコトピアへ提出済みのイベントについては、内容を変更せずにエコトピアでの受付を行う為、ニュースレターへの掲載方法は従来通りとする。今後の掲載については、貸館の予約受付期間と、ニュースレターの入稿時期の折り合いがつけば掲載は可能。ただし、ニュースレターへの掲載を希望する場合はイベントの詳細が必要なため実施企画書の提出をおねがいしたい。掲載の優先順位は低い為、掲載可能件数によっては掲載できない場合もあることは了承願いたい。
9					今後の意見交換会での共催プログラム決定までのながれ		次回7/21に、来年度の休館日カレンダーの配布。それをもとにイベント予定・意見のヒアリング、検討を重ね、2022年1月には来年度のプログラムを決定したい。
10					HPからダウンロードできる申請書類がPDFのみで不便を感じる。データでダウンロード出来るようにしてほしい。		PDFとWord、Excelデータのダウンロードページを設置することとする。←5/20対応済み。 ただし、提出していただいたデータに改変が見られ、申請に必要な情報が得られないなどの不都合が生じた場合は、再提出を依頼する可能性がある。
11				●	HPに各団体・個人のリンクを掲載したらどうか。また、実施企画書の広報欄にもHPやFBのリンクを希望するか選択肢を入れたらいいのでは？	検討中	次回までの検討事項とする。
12			●	●	来年度のプログラムを協議するに当たり、エコトピアとしてのコンセプト・テーマがあった方が協議しやすい。		新環境クリーンセンターの環境学習・環境啓発の基本目標である、「環境に関心を持ち実践する市民の育成」を達成するために資源循環利用（マテリアルリサイクル）をテーマとして運営していく。 ①環境への関心を持つきっかけ作り ②環境をテーマとした賑わいと活力づくり ③自ら実践する市民の育成 ④地域の自然環境を愛する気持ちの育成 スケジュールについては次回の意見交換会で提示する。
13				●	クリーン工房として現場(循環啓発棟)の雇用確保についてどのように考えているのか教えてほしい。		・基本の考え 従業員全員が安心し自信を持って業務を遂行できる環境を整備します。 そのために従業員本人に対しても「安心・安全・快適」な労働環境を確保し、業務上の労働基準・安全・衛生などに関する法令や強制労働、ハラスメント、差別等々がない職場を遵守致します。 ・雇用の考え 雇用については「基本の考え」をもとに従業員同士が人と人とのふれあいを大切にし、日々コミュニケーションを図りやすい環境づくりを行い、施設内の課題点や管理運営方法などについて、日常的に意見・情報交換及び工夫・改善できるように努めております。 また、従業員一人一人が成果創出により自己成長をしながら価値を生み続けることが利用者の満足度の向上につながり社会への貢献につながると考えております。